

ROTARY INTERNATIONAL GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



OFFICE OF GOVERNOR OF DISTRICT NO. 360.

YUJIRO YAMAGISHI

C/O MATSUBISHI DEPARTMENT STORE
124 KAJIMACHI HAMAMATSU JAPAN



No. 6 (Nov. 15. 1959)

昭和34年11月15日

第360区ロータリークラブ

会長並に幹事殿

国際ロータリー第360区ガバナー

山 岸 勇 次 郎

○ 1959年度第360区年次大会報告

(Report on Annual Conference of
District 360 R. I.)

わが第360区の1959年地区年次大会は10月24～25日の両日にわたり、静岡市駿府会館において、1091名に上る多数の来賓、ロータリアン及び家族の参加を得て、盛大に挙行され、大成功を収めて万事予定通り終了しましたことは、何はともあれわが360区といたしまして御同慶に堪えないことゝ祝福いたします。

それにつけても、この大会がかくも空前の盛況に盛り上げられたのは、一年有余にわたり、一致協力水も洩らさぬ万全の準備を整えられたホスト、クラブ、静岡ロータリークラブ会員及び御家族の方々の献身的な御奉仕によって始めてなしとげられたことであってその御労苦に対して万腔の感謝を献げるものであります。

然かも前夜懇談会の行われました23日より会期中一滴の雨も降らなかった好天気恵まれたことはホストクラブの方々の熱誠が天に通じたものといつて過言ではないでしょう。

また本大会のため各方面で御協賛下さいました静岡県、市当局、警察署、通信関係ボーイスカウト、国有鉄道、静岡鉄道、日本交通公社、その他各関係諸団体の各位の御尽力に対しまして深甚な謝意を表するのであります。

たゞ去る9月26日にわが第360区の中核地方に惨害を与えた伊勢湾台風のため、参加を取消された、ロータリアンの生じたことは真に残念なことで広く同情の念をひくことになりました。

Harold T. Thomas R.I. 会長の代理として S. Kendrick Guernsey さんが、遙々アメリカより参加されて、三日間にわたってわれわれの諸行事に臨席され、親しく会長のメッセージをもたらされて、われらロータリアンの感激をいやが上にも高められたことは感謝に堪えませぬ。なお前夜懇談会や部門別協議会にも一々顔を出され一席弁ぜらるゝ熱心さには、かえつて恐縮するほどでありました。

前夜懇談会 (10月23日)

静岡駅前松坂屋デパート七階を会場として10月23日午後3時より登録が開始され、午後4時より開会されて6時終了さるゝまで熱心に審議され、日頃の懸案について解明を求められたのであります。その間九鬼紋七バストガバナーをリーダーとして司会を願い、その他盛田秀平、戸田直温、伊藤次郎左衛門柳瀬省吾、宮脇富の各バストガバナー諸君の指導のもとに適宜に解説が行われたのであります。

その前夜懇談会の議案及び解説につき概略を御報告いたします。

1. 地域外各種社会団体より協力を望む手紙がまゐりますが他クラブでは如何にお取扱いでしうか。
(伊東クラブ提案)

(解説) 各クラブにより事情を異にするためその時に応じて適宜に処理するのが適当であろう。他クラブではこのようなケースは比較的少ないようである。

2. 職業分類中大分類 Finance (金融) 小分類 商業銀行に対する取扱いを如何にすべきか。
(名古屋クラブ提案)

(解説) 現在日本の職業分類表によると銀行の分類が多様に分れている、従つて何れかの小分類により処理できるであろう。

3. Synthetic Textile Fibers (又は Textile Fibers-Synthetic) なる大別職業分類新設に関する件
(西尾、岐阜、一宮、津島各クラブ提案)

(解説) 新興繊維の創造は目醒ましいものがあり、天然繊維は斜陽産業化する現状であるも大分類の変更は国際理事会の決議を要することでもあり、R.I. は規則を複雑化することを好まないため、今しばらく国際情勢に順応することを可とする。

4. 互に知り合うと云うことがロータリーの大事な目標となつているとするならばメークアップ以外に多く他クラブに出られた人は其の努力を認めて良いと思う。それで例えば「一年に五日以上エキストラの出席をした人は正規の定例日の出席に一日欠席したため皆出席になり得ない様な場合エキストラの五日を正規の一日にふりかえを認める」と云う様な処置は出来ないものか。
(岡崎クラブ提案)

(解説) 出席奨励策としての考案でありましょうが実行困難なことと思われる。

5. 毎月報告する規定の出席率以外に他クラブへ出席した出席数も加えた出席率を計算してガバナー宛報告し其の成績も発表されたら如何、100%の出席率で同率の場合他クラブへの出席数(規定出席数以上の)、を加えた出席率により毎月一位二位を決定し発表する。
(三島クラブ提案)

(解説) 他地区との関係あれば他地区の協力を得る必要がある、また手続を複雑にすることは好ましくない。

6. クラブ出席競争について仮称ロータリー賞の設定。
(沼津クラブ提案)

(解説) クラブ出席競争の順位のつけ方についての発表がありました。
仮称ロータリー賞は主旨においては異議は

ないが実行の点においてむづかしいであろう。

7. 国際大会必携を編集し日本の会員に配付されたし。
(上野クラブ提案)

(解説) 「ロータリーの友」編集事務所にこの主旨を伝えて勘考を求める。

8. ロータリークラブ刊行物の日本語版が内地で容易に入手出来る様に計らつて頂き度い。
(安城クラブ提案)

9. ロータリー文献の邦文化問題を速に解決してほしい。
(松本クラブ提案)

(解説) この二項ともわが国ロータリークラブにとつては最も関心の強い問題であるため、これを要望する声は非常に強かったのである。常に対策を検討して善処するよう考えられているが、未だに解決の緒につかぬことは最も遺憾である。今後も怠らず善処するよう努力する。

10. 病氣長欠を如何に処理するか。
(桑名クラブ提案)

11. 長期病氣欠席者の取扱いについて。
(飯田クラブ提案)

(解説) 長期欠席者の自発的な申出であれば一時退会として再入会を認めるほかないであろう。シニア及びパスト・メンバーに対しては特例がある。

12. 退会者の残余会費の取扱いについて。
(半田クラブ提案)

(解説) 返済しないことに定められている。

13. 伊勢湾風水害の義捐金について。
(熱海クラブ、静岡クラブ提案)

(解説) 既に義捐金を醸出したクラブが多いので各クラブで適当に処置する。

以上をもって前夜懇談会の提出議題の協議は終了したのであります。その間会長代理 Guernsey さんは17時26分静岡着の「はと」号にて到着、接待委員長の東ヶ崎潔バスターガバナーと共に会場の松坂屋七階に立ち寄られ折柄論議されていた会場の模様を熱心に観察されました。

懇談会終了後直ちに晩餐会に入り、余興の手品に打ち興じて、満場和気暖々の裡に7時20分散会しました。

大会第一日 (10月24日)

10月24日の第一日は申し分ない快晴で、遠近のクラブから集るロータリアンとその家族は遠く麗峯富

士山が眺められる、大会々場駿府会館にぞくぞくと集り、ホストクラブ静岡 R.C. の会員及び家族の方々に迎えられて、定刻には所定の座席は余すところもなく、塞がる盛況でありました。

出席者は総数1091名、その内訳は360区の会員及びその家族896名、他地区より48クラブ162名の参加があり、その他来賓を33名迎えたのであります。

会場の駿府会館は優に6,000名を収容するに足るという広大な建築物なので、これだけの来会者を入れても余裕綽々、周囲に紅白の幕を廻らして売店、喫茶室等に当てられたほどの大構築に驚嘆するほどのものであった。卓上には季節の花菊華が馥郁と芳香をはなっている。壇上の装飾も地球に Rotary International の文字が配してあるところに国際性があらわされている。

午前10時いよいよ開会が宣せられ、ソング・リーダー尾崎忠次氏の指揮のもとに「君が代」とロータリーソング「奉仕の理想」が力強く合唱されました。

川井大会委員長の開会の辞、上野ホストクラブ会長の歓迎の辞、松永静岡市長の同じく歓迎の辞がありまして、ガバナーとして私の挨拶並に報告(別掲)を終り、引続いて山口静岡県副知事の祝辞の後、会長代理 S. Kendrick Guernsey 氏が立って、Harold, T. Thomas R.I. 会長のメッセージ(別掲)を伝達せられ会員一同は謹聴して深く感銘をうけました。次いで下記の十柱の物故会員に対し冥福を祈って黙禱を捧げました

岸 衛(熱 海) 池田 作松(金 沢)
小岩井 浄(豊 橋) 石川 哲(伊 東)
江崎銀兵衛(静 岡) 杉下 延郎(高 山)
高木 吾平(一 宮) 田上 初雄(金 沢)
吉本 熊夫(名古屋) 大愛新佐久(魚 津)

鵜飼資格審査委員長より資格審査委員会の報告があつて後、新クラブの紹介を行いました。昨年の岐阜大会後に新設されたクラブは次の通りであります。

名古屋北クラブ 名古屋東クラブ
碧 南 クラブ 豊 川 クラブ
四日市北クラブ 瀬 戸 クラブ

外に仮クラブとして静岡東クラブの紹介を行いました。

以上にて午前中の日程を終り、桜井大会幹事より諸事お知らせがあり、昼食の休憩に入りました。昼食には静岡名物の鯛めしを頂き、そのなつかしい慈味に舌鼓を打ったのであります。

この間ガバナー、ノミニー選挙委員会及び決議委員会がそれぞれ別の席で行われました。

午後1時より一般会員及び家族は市内観光と産業観光の二隊に分かれて見学に出発せられ、一方部門別協議会に出席の会員は下記の担当部門において各リーダー及びアドバイザーの諸君の懇切な御指導のもとに午後1時より3時まで2時間にわたりいとも熱心に協議されました。

クラブサービスA部会(出席、職業分類、会員詮
衡プログラム, S. A. A.)

リ ー ダ ー 清水 芳二君(豊橋北)
アドバイザー、パストガバナー 九鬼 紋七君

クラブサービスB部会(親睦、雑誌、会報、一般
情報、ロータリー情報)

リ ー ダ ー 中村 良一君(浜 松)
アドバイザー、パストガバナー 盛田 秀平君

職業奉仕部会

リ ー ダ ー 松井 弘君(岡 崎)
アドバイザー、パストガバナー 柳瀬 省吾君

社会奉仕部会

リ ー ダ ー 岡崎久太郎君(名古屋)
アドバイザー、パストガバナー 宮脇 富君

青少年奉仕部会

リ ー ダ ー 小林 完君(沼 津)
アドバイザー、パストガバナー 戸田 直温君

国際奉仕部会

リ ー ダ ー 平岡 昌一君(清 水)
アドバイザー、パストガバナー 伊藤治郎左衛門君

二時間にわたる協議会の間に会長代理 Guernsey 氏は各部門協議会に臨席されて、示唆に富む訓話をされたり、指導を与えられたり終始熱心に参画されました。

3時30分より自由討議に入り九鬼パストガバナーをモデレーターとしてパネルに宮脇、柳瀬、伊藤、戸田、盛田、各パストガバナーが当られ、議題は専ら今回の台風を基準として、災害対策について討議せられました。

4時15分より一旦休憩に入り4時30分に再開、山崎登録委員長より登録委員会報告あり、続いて出席優秀クラブの表彰が行われ、次ぎの順位に従い、優勝盃及び優勝ペナントが授与されました。

第一位 熱 海 第二位 豊 橋 北
第三位 津 島 第四位 沼 津
第五位 浜 松 第六位 吉 原
第七位 岐 阜 南 第八位 高 岡
第九位 三 島 第十位 名古屋西

次ぎにガバナー、ノミニーの選挙報告を選挙委員会鈴木信雄氏より発表あり、名古屋クラブの佐治博

君が満場一致、ガバナー、ノミニーに推挙された旨を報告されました。この報告に賛成を得た後、私より佐治君の略歴を紹介しました。佐治博君は昭和五年慶應義塾大学を卒業直ちに家業の佐治タイル合資会社代表社員に就任され、昭和8年紺授褒章を受けられ、その後佐治タイル株式会社社長に就任され、現在に至るのでありますが、その他多くの公職又は会社重役を兼ねられています。ロータリー歴は22年の長きにわたり名古屋クラブ副会長、会長を歴任されたヴェテラン、ロータリアンで真に頼母しいガバナーノミニーであることを述べました。佐治君よりはガバナーノミニー受諾につき町重なる挨拶をなされました。

R. I. 会長代理 Guernsey 氏御夫妻に対し記念として乾漆の花器と真紅の絹地に羽衣の刺繍を施したハッピーコートが贈られ、また九鬼バスターガバナーには1年の労苦に対する感謝の意を表して記念品が贈呈されました。

ロータリー奨学生宮田絹江嬢と米山資金奨学生 M. G. K. ジョアルダー君の挨拶をもって第一日の会議を滞りなく終了しました。

休憩の間には静岡市内高等学校学生により編成された野外吹奏楽演奏が会場前広場で行われ参会者一同しばし外気に解放されて、美しいメロディに耳を傾けました。

会場の整備を待って晚餐会に移り心尽しの郷土産の材料で調製された珍味佳肴を味わい、幾多の珍しい郷土芸能を観賞して、一同大満悦のうちに散会しました。

大会第二日 (10月25日)

朝来の好天はやゝ曇り勝ちの空に変わりましたが午前9時の開会は清々しい気分が溢れていました。

まず決議委員長盛田秀平君より決議委員会の報告(決議文別掲)が行われ、これが採択を満場に諮りましたところ全項目承認可決されました。

また1960年マイアミにて行われる国際大会において挙行される規定審議会に地区代表出席者としてガバナー、ノミニー佐治博君を推す旨を諮りましたところ満場異議なく決定いたしました。次に第一日に行われました部門別協議会の各リーダーより10分づつ報告を行いました。協議内容の豊富なため報告の時間の短いのが残念でありました。

続いて「山田長政と静岡」という演題のもとに静岡県出身である村松梢風氏の講演をひとしお興味深く聴くことができました。

参加クラブ代表として名古屋ロータリークラブの滝兵右衛門君より挨拶あり、次期開催地代表挨拶を東京北クラブ塚本峯吉君が述べられました。

次に Guernsey 会長代理より感想として述べられた中に、同氏はこのような地区大会に126回出席したということで、その中でこの静岡の大会は最高の優の点がつけられるといわれ、特に静岡クラブの御婦人の方の御協力には絶讃の言葉を贈られましたことは強く印象づけられたところであります。

また前夜懇談会のような真摯な会合はアメリカの地区大会では見られないところで、R. I. にその優れた会合であることを報告すると言明されました。

ガバナーとして大会の終幕に臨み、本大会がかくも盛況裡に終始したことは、偏にホストクラブ及び関係方面の御尽力の賜であることを述べたゞ感謝のほかないことを強調して挨拶を終りました。

ホストクラブ側の挨拶として大会副委員長長嶋正太郎氏より町重なる参加御礼の辞がありました。

以上をもって芽出度く1959年の360区年次大会の幕は下されたのであります。

観光は四つのルートに分かれ、Aコースは日本平、Bコースは富士五湖巡り、Cコースは奥伊豆周遊、Dコース川奈ゴルフ場に向つてそれぞれ割当てられたバスに分乗して思い思いの観光の途についたのであります。観光の御世話を頂いたホストクラブの委員の方と通過地のロータリークラブの御歓待に對しまして厚く御礼申し上げます。

地区大会に於ける S. ケンドリック グァンゼー講演
ポール ハリスの思想と理想

ロータリーの御婦人の方々
親愛なるロータリアン諸君

先ず以て国際ロータリー、ハロルド T. トーマス会長の挨拶をお伝えします。会長は本年度の主要目標として、吾々の愛するロータリーが個人々々の生氣ある奉仕によって、“友愛の橋”を築くことを要望しておられます。何と立派な抱負ではありませんか。何と高邁な理想ではありませんか。国際ロータリーと呼ばれる団体の名を知る、知らぬに拘わらず、世界の好意ある人々にとって、これは又何と實際的な計画ではありませんか。トーマス会長はこう言っておられます、“この事業は、ロータリーの最善を尽し、吾々の一人一人の最善を尽すに値するものである。そして吾々全部が参加して尚多きに過ぎるものではない。”

そして、吾々の創始者、ポール P. ハリスの基本

的概念を想うとき、1959—60年度国際ロータリー会長の計画はそれと極めて近似しているのです。会長は、友愛の橋の建設こそ、ロータリーに於ける吾々の仕事であるとしておられます。（私はここで“吾々”という言葉を使う点を強調したいと思います。会長は、ロータリーのバッジをつける、あなたを、私を、そしてすべてのロータリー会員を指しておられるのです。）最初のロータリークラブは、友情と職業を分け隔てて来た谷間に橋をかけるために組織されました。そしてこの谷間を橋で結ぶ事業はロータリーの素晴らしい最初の成功でありました。かくしてロータリーは基本的に、男と男の間、そして汎く一般の人々の間に友愛の橋をかける事業のために組織された友情の団体であります。

更に、会長によって示されたこの実際の且つ示唆に富む計画は、ポール、ハリスの概念と如何にも相通じています。国際ロータリーの或大会でポール、ハリスはこう話したことがあります。“将来に対する私の希望は、ロータリアンが、総ゆる人種、総ゆる宗教を含めてすべての人々に対して好意の使節としての任務を続けてほしいということである……ロータリアンが、常に人に対して寛容であり、有用であり、親切であり、又友情深くあるようにと願うのである。……そして、全世界に誇るロータリーの友情を通じて、吾々が究極的に国際理解、友好、平和の目的を達成するよう希望する。”

ロータリーの基本的教訓を真に上手にまとめた言葉であると同時に、ロータリー会員としての義務を負い、その特典と恩恵を享受する吾々の一人一人にとっては、この上ない使命ではありませんか、それは又意義ある建設的生涯にとって素晴らしい企画ともなるのであります。ポール、ハリスは、ロータリアンが好意の使節としての任務を遂行してほしいと希望しました。好意とは何でしょう？

好意とは友人が日々の仕事に打込む努力を賞讃することです。

好意とは家族、隣人、友人そして同僚に払うべき礼儀であります。

好意とは協同作業であり、成果に対する栄養が誰に与えられようと意としないことです。

好意とは緊張をほぐし、人間関係の摩擦をとりのぞくユーモアであります。

好意とは悲しみ、歎きに沈む人々にさしのべる握手であります。

好意とは気落ちする心に新しい希望を植えつけることです。

好意とは吾々の生活に於ける嫉妬と憎悪に打ち勝つ大きなしかも私心を知らぬ何ものかです。

好意とは全人類から憎しみ、うらみ、痛みや悪意を追放する力です。

しかし、あなたは反問するでしょう。“自由国家群人口の百分の一にも遙かに充たない会員数を以て、どうしてロータリーは好意を通じての理解を実現することが出来るか？”既往に於ける偉大な業績にも拘わらず、吾々は効果を期待するには数字的に余りにも弱少であると考える会員が多数にあることは事実であります。

サーモバリ*1では数人の若人が吾々の文化の歴史に本質的な変化をもたらしました。

*1THERMOPYLAE ギリシャの峠、紀元前480年、ペルシャ軍がスパルタ軍を撃破した古戦場。

羊飼いの少女*2はただ一人でフランスを救いました。

*2JEANE D'ARC

小さな船に乗り組んだ寒村の労働者の一団*3は、世界最大の民主国家として誇る、私の母国、アメリカの基礎を築きました。

*31620年 MAYFLOWER 号でアメリカに移住した102名の清教徒

大都市シカゴに孤独をかこった一人の若者は数人の知己を集めた。それが、ご覧なさい、約50年後、114カ国に栄える、国際ロータリーに発展したのであります。

人間の従事する事業では、往々にして数字が過大に強調されます。質は量に比し遙かに強力且つ持続的であり得るのであります。更に質は、その背後に、団結と、決意と、忍耐と賢明な企画を持つとき、計り知れぬ結果を造り出せるのであります。一つの問題に対していきなりぶつかっていく方法は必ずしも常に有効とは言えません。

レスリー ハントの著、“種の果実”の劈頭に面白い一節があります。

戦争の脅威に曝され、戦争に財産を奪われた人々の号泣を耳にしながら“人間”は不安な眠りに落ちて行った。眠りの中で彼は、神から人間への贈物を陳列する大きな店に入る夢を見た。売場の後に立つ天使に話しかけて彼はこう言った。“実は魂の果実の手持がなくなりました。分けていただけるでしょうか？”天使が、出来ないと言おうとしたとき、“人間”は叫んだ。“戦争、苦悩、不正、欺瞞、欲望の代りに愛情、歓喜、平和、誠実と秩序がほしいのです。これなくしては滅亡の他ありません。”売場

の天使は答えた。“ここでは果実の手持はありません。種だけです。”

教訓は明らかであります。好意の種をまき、百倍する果実を収穫しようとするロータリーは真に大きな使命を担っているのであります。国際ロータリー、国際連合、その他、理解と好意のために働いているすべての団体が、一代の間に、いや何代にも涉って、尚平和を実現出来なかったとしても吾々は余り失望しないことにしましょう。よい種は叡智を以て植えられるとき立派な実を数限りなく実らすものです。

前に引用した通り、ポール ハリスはロータリアンに対し、“寛容、有用、親切と友情の供給者として努め続けるよう” 強調しました。吾々が皆、寛容であり、有用であり、親切且つ友好的でありたいと願っていることに疑いはありませんが、ともすると性急に陥り、批判的になり、無理解に終り勝なものであります。実話でそれを説明しましょう。それは実際に起きた話であります。

ある時私の国の西部地方を走っている寝台車に眠りについてた乗客達は、泣き止まぬ赤坊の声に眠りを破られました。苦情の声があちこちに聞えます。たまりかねた一人の乗客はカンカンに怒ってその父親に迫り、“何とか赤坊を静かにしたらどうだ。母親に言ってくれ” とどなったのであります。

悲し気に答える父親は、“赤坊には母親がないのです。四日前に亡くなりました。” と言います。ハッとしたその男は、にわかに恥じり同情で心は一杯になりました。“何かお手伝いは出来ませんか?” “あなたはお疲れに違いない。私がしばらく赤ちゃんの面倒を見ましょう。何とか気嫌を直せるかも知れませんよ。”

他人の事情を知るとこんなに事は変るものです。

アイアン マックラーレン (Ian Mac Laren) はその著書、“Beside the Bonnie Brir [Bush]” にこんな美しい言葉を綴っています。“親切でありましょう。誰もが苦しい戦をしているのです。”

生活は誰にとっても楽ではありません。しかし吾々は同じく人生行路を巡礼する仲間生活を少しでも楽にすることが出来ます。理解に努めることにより、友愛の橋をかけることにより、そして過去の不快な記憶を忘れることによって出来るものであります。幸にして、自然は吾々が過去の不快を忘れられるように出来ています。人間の心は、触れるものすべてを吸収、吸着するスポンジではありません。それは寧ろ不幸な記憶を消し去る蒸発器のようなものであります。一晚中苦しんだ歯痛は手当によって五

分間で忘れられます。一週間の長雨も迎える一日の晴天に忘れてしまいます。戦争の辛苦さえ終戦とともに薄れていきます。

平常な人々は過去を語るに、“昔はよかった” と礼讃の言葉を以てします。昔のすべてがよかったわけではありません、しかし人の心は過去の苦い経験を記憶しつづけることを拒否するのであります。

印度にある日時計に記される有名な碑文をご存じでしょう。“私は太陽の輝く時間の他何ものも記録しない” とあります。もしこの日時計の言葉を人生の標語とするならば、吾々の生活はより幸福に、より充実したものとなりましょう。不快な或は温まった経験から教訓を得たならば、その事実そのものは忘れたいものであります。曇りの時間計に記録されません。

ポール ハリスに誓います。吾々はロータリーが主張する理想と理念に一層の関心を持ちましょう。あなたと同様に、吾々も亦ロータリーの意義と価値を信じます。そして、ロータリーが外に発揚されるとすれば、それはロータリーと一心同体である吾々がロータリーを自分達個々の問題としてとり上げる故であります。仕事に於ける如く、趣味に於ける如く、そして宗教に於ける如く、もし吾々がロータリーから報酬を求めるならば、自らロータリーを信じ、ロータリーのために活動しなければなりません。他人に対する思いやりと親切はロータリーの本質であり吾々の標語であります。最大の奉仕は最大の利益 (HE PROFITS MOST WHO SERVES BEST) 無私の奉仕 (SEVICE ABOVE SELF) は共に立派な理想であり、美しい思想であります。しかしに實際的で価値あるにせよ、文字に書かれたままの思想は動きません。吾々の実生活では、それは世界をすら征服出来るのです。もしロータリーがあなたに対して、クラブの内に於て、あなたの住む町々に於て、そして社会一般に於て、前途により明るい希望をもたらすことなく、より温い友情を与えることなく、そして他人の苦悩、権利、価値に対する認識を深めることなく今日に到っている、要するに、ロータリーがあなたの経験を円熟せず、あなたの生活を豊富にしていないとするならば、あなたのクラブ、あなた自身、或はその双方に何かの欠陥があると申さねばなりません。

近代生活の複雑性と仕事に消費される多大の時間を前にして、吾々はいかに時間を活用すべきかを十分に計画し、慎重に方法を考えねばなりません。吾々の中にある“人間性” にとって時間は量であり、

吾々の中にある“神性”にとって時間は質であります。

“働け、休むな”とは吾々の子供時代からの警句です。しかしこれを広義に解するならば、今日の生活設計にも適用することが出来ましょう。吾々が充実した生涯を達成しそれによって得られるべき報酬を求めるならば次の様に時間を使わねばなりません。

生活のための時間、成功の秘訣の一つです。

思考のための時間、力の根源です。

娯楽のための時間、若さを保つ秘訣です。

読書のための時間、知識の基礎です。

友情のための時間、幸福の源泉です。

笑いのための時間、人生の重荷を軽くするに役立ちます。

夢見るための時間、魂を星空高く上げます。

そして町のため、国のため、世界のために自己を忘れて奉仕する時間を持たねばなりません。それは地球上に身をおくために払う代価であります。

吾々に割当てられた時間は極めて短いので、ロータリーの内外に於ける活動は各自の好みに応じて選択さるべきは勿論であります。同時に、時間、思慮、精力と財産を投じて得べき報酬についても充分な考慮を払わねばなりません。シカゴに小さくロータリークラブが生れて以来、青少年に対する関心と援助はロータリーの存在する 114 カ国の何れに於ても強く要望されているロータリー活動であります。ロータリアン エディ ゲスト (EDDIE GUEST) が最近ものにした“子供に過ぎない”と題する次の詩はポール ハリスも讃意を表するに違いありません。

偉大なるわが国に多くの人々がいる。……年経れば大切な人々だ……尚、年若く……無名の人々だ。……大きく伸びる素質持つ彼ら……立派に生きる資格ある彼ら……しかし放任しては……成人への道を見失う……遊び心といたづらっ気で一杯な彼らだ……キラキラ光る眼……この中にゆくゆくは……きっと名を挙げものも出る。……だが温い手引が必要だ……彼らの前にたつ課題の故に……放任してはあふない……いばらの道に……医愛に、法律に、宗教に彼らは進む……一寸した手助け……励ましの言葉、訓え——によつては……どんな仕事にも練達する……将来に適応させ……正しい途に進む……だが、彼らの才能も……放任しては消えてしまう……

もしあなたが一生の伴侶とする趣味を持たず、ロータリー活動にも積極的でないとすれば、クラブ

の青少年事業に参加するよう心からお奨めします。それは素晴らしく又喜びに満ちた体験であります。得るところ真に大なるものがあります。しかし、ロータリー活動の何れを選ぶにしても、その基盤としては他人に対する思いやりと親切を忘れないで下さい。これこそロータリー運動の源泉であり、ロータリーの主要なる存在理由であります。

東洋の伝説に、正直な努力と同僚に対する公正な協力によって大きな事業を築き上げた善良な男の話が伝えられています。年老いると共に、事業の将来が心配になりました。生残った親類といえば若い甥三人だけです。

或日、この若者たちを呼んで、“お前達の中の一にわしの事業を譲りたい。”と申しました。若者達は礼を述べ、何れも最善の努力を誓いました。

老人は話をついで、“わしは一つの問題を考えている。それを一番よく解いた者に事業を譲ることにする。”こう言つて若者に銀貨一枚ずつを渡しました。“ここは大きな部屋だ。それを出来るだけ一杯にするものを買ってくるのだ。だが今渡した銀貨以上に金を使つてはならんぞ、さあ行け、太陽が沈むまでに帰ってくるんだ。待っているぞ。”

一日中、若者達は市場を廻わり、商人を訪ねて歩きました。そして陽が傾く頃、叔父の家に帰つて来ました。やさしく迎え入れて、さて何を買つて来たかと尋ねます。

第一の若者は俵一杯の麦わらをかつぎこみました。俵をほどくと、麦わらは大きなかさになり部屋の壁二面を覆ってしまいました。麦わらを片付けながら、皆は彼に賞讃をおくりました。

第二の若者はアザミの冠毛、二袋を運び入れました。袋から出すとそれは部屋の半分を一杯にしました。他の二人は拍手を以て讃えました。

第三の男は黙ったまま絶望の色を見せて立っていました。荷物は何も持っていません。

“何を持って来たかね、”と老人は尋ねました。

“私は飢えに苦しむ子供にお金をやりました。残りの大部分を賽銭箱に入れ、罪をゆるされるよう神に祈りました。”と弱々しく答えるのでした。拍手は起こりません。しかし若者は言葉をついで、“残りの小銭でこの火打石とローソクを買つて参りました。”と言いました。そして火打石をすつてローソクに火をつけました。部屋の隅々まで明るく光に満ちたのです。

“よくやったぞ、忠僕よ。お前は少しのことを誠実にやった。わしはお前を多くのことの支配者とし

よう。”と老人は申しました。跪く若者を祝福し彼の財産のすべてを与えたのであります。この部屋に、この町に、そして吾々の住む世界に、トーマス会長の強調するポール・ハリスの言葉をゆきわたらせるために、あなたも私も全力を尽しているのでしょうか？この話はロータリアンに教えるものがあると信じます。40年に近い会員生活の間に、ロータリーについて真剣に考えるとき、時折不思議に感ずることがあります。どうしてロータリー運動はかくも大きく、目覚ましく、順調にそして世界的に発展し得たのでありましょう。今日25億といわれる世界人口中のただ数十万人がその教示を信奉する故のみでないことは確かであります。この運動は理解と好意の種を植えつけるべく、友愛の橋をかけわたすべく、そして能う限り“他人に対する思いやりと親切”を施すよう全人類に呼びかけます。そしてそれを通じて人類の自由と個人の尊権を確保し、地球上に生きる限りすべての人々が幸福を追い求め得ることこそ人生の真の途であるとするところにその理由があると信じます。

世界にとって、今日は困難と混乱の時代であります。人類は無計画にこの時代を突破することは出来ません。神のない共産主義世界とするか、或は他人に対する思いやりと親切を標榜する世界とするか、何れかをとらねばならないのであります。団体としてのロータリーは、あくまでもその理想と指導力を発揚しなければなりません。然らずば、次第に光彩を失い、やがては、人類のため偉大な奉仕を致さんと約束づけられながら遂に果し得ずに終った、尊敬すべき過去の遺物となり終ることでありましょう。

ロータリーにこんな運命を辿らしてはなりません。ロータリーの理解と好意、そして友愛の橋の建設こそ国家間の平和にとって唯一つの安全な基盤であります。

トーマス会長の愛好する言葉を以て、どうか皆さん、私と共に誓っていただきたい。

“私はただ一個の人間だ、しかし一個の人間である。私はすべてのことは出来ない、しかし何かは出来る。そして神の恩寵により私は出来ることは必ずしょう”

カバナー挨拶並に報告要旨

地区大会は国際ロータリーとして最も重要な会合でありまして、毎年一回行われるのであります。そして各クラブより参集した多くの会員が一堂に会してロータリーに関する重要な事項を論議、決定する

役割をもって行われるものであります。

しかしながら、是等のロータリーの議題は当然のこととして、ここに集りました我々ロータリアン及びその家族がお互いに友好を広めることも大きな目的なのであります。従って、できるだけ多くの会員と御家族を迎えることは大会の願望なのであります。ひいては大会の成功可否かを決することにもなるのであります。アメリカの地区大会でも大会の出席率の良否は御夫人の影響の大きいことを認めております。

いづれにしても、このような集いは Harold T. Thomas R. I. 会長が本年の目標として説かれた“友愛の橋をかけましょう”の目的に対して最もよい機会であります。私達の中には長い間の交際の人もあれば、初めて会う人もあるのですが我々は R の目的を通して既に親密な友人であるのであります。

人間が友人を必要とすることは、変わることのない偉大な真理であります。1905年にシカゴにおいて Paul, P. Harris 氏の手によってロータリーが誕生した頃の商業は嘘と懸引と暴力によって、喰うか喰われるかのだまし合いのようなものであったそうですが、そこで真面目な商売をすることを目的としてロータリーが生れたのであります。その目的を達するため友情をもって解決せんとしたのが当初の理想であったのであります。

そのロータリーが54年を経た今日。このような偉大なロータリーに発達したのであります。1959年9月14日現在で世界のロータリー、クラブの数は世界の114ヶ国において10,317を数え、その会員は481,000に達するのであります。

わが国の R. C. について見ますと6の地区に分れて R. C. の数は約320に達しその会員数は13,000名を越えるのであります。その中わが360区はクラブの数は53、会員約2,200名を擁しているのであります。かくしてわが国の R. C. は年々歳々発展の途を辿っていきまして戦前と比較しますと約十倍の発展でありまして、恐らく世界ロータリー史上でも驚異的な記録でありましょう。

わが国においてロータリーが、かく盛んになったということは、わが国の現状がロータリーの理想とする奉仕の精神を、いかに必要としているかを物語っているとみて、差支えないと思います。

この奉仕はロータリーでは、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕の四つに分けておりますが、これ等は皆友愛の橋をかけることによって実行され

るのであります。

Thomas 会長はこの他にロータリーに“生気を与えよ、”といわれ、また、“ロータリーを”身につけよといわれています。今後ロータリアンを選ぶにはロータリー精神の強い人、心の豊かな人を選ばねばなりません。しっかりしたロータリアンとなり得る人が必要なのであります。

今後といえどもロータリーは益々拡大、発展して行くことは信じて疑わないのであります。なんとすればロータリーの目的には永遠に終点がないからであります。

しかしロータリアンの考えることは決して大きな目覚しいことばかりではないのでありまして、身近かな簡単なことを忘れてはならないのであります。一人の人間には総てのことはできませんが、少しのことならできると Thomas 会長は教えていられます。私達はロータリーのため、その社会のため、その祖国のため、人類のため私達のできることをやろうではありませんか。

大会決議事項

本大会で採決されました議案は次の通りであります。

決議第1号

国際ロータリー会長代理派遣に対する感謝の件
一九五九年度国際ロータリー第三六〇地区の年次大会開催に当り、フロリダ州ジャクソンビルの S・ケンドリック・グアンゼイ氏は国際ロータリー会長ハロルド T・トーマス氏の個人代表として特派され、会長に代って祝意を表し感銘深いメッセージを伝えられたことに關し、本大会に参加した地区内会員はもとより、その家族及び他地区会員は、国際ロータリー会長の好意と思慮深い措置に対し心から深く感謝している。

またジャクソンビルから夫人同伴遠路はるばる来朝された S・ケンドリック・グアンゼイ氏に対しては一同敬意と歓迎の意を表する次第である。

依て茲に

ハロルド T・トーマス国際ロータリー会長並に S・ケンドリック・グアンゼイ氏に対し深甚なる感謝の意を表することを決議する。

決議第2号

トーマス国際ロータリー会長の

今年度の目標達成の件

トーマス国際ロータリー会長は今年度の目標として VITALIZE, PERSONALIZE, BUILD BRID-

GES OF FRIENDSHIP を提唱したが、これは極めて含蓄のある言葉であって、今後のロータリーの発展のために最も適切な目標であると信ずる。

依て茲に

トーマス国際ロータリー会長提唱の今年度目標達成に邁進することを決議する。

決議第3号

前ガバナーに対する感謝の件

一九五八一五九年度国際ロータリー第三六〇地区に於けるロータリー成目覚しい発展は前ガバナー九鬼紋七君の超我的奉仕と細心な指導の賜である。

依て茲に

国際ロータリー第三六〇地区前ガバナー九鬼紋七君の偉大な功績に対し深甚なる敬意と感謝の意を表することを決議する。

決議第4号

小林雅一前国際ロータリー

第一副会長に対する感謝の件

一九五八一五九ロータリー年度に於て小林雅一君は国際ロータリー第一副会長としてあらゆる努力を吝まず、会長代理として米国及日本の各地区大会に出席する大任を成功裡に果たされたが、特に一九六一年度国際ロータリー大会の東京開催決定実現に尽された努力と熱意は筆舌に尽し難く、その功績は計り難いものがある。

依て茲に

小林雅一君に対し衷心から敬意と感謝を表明することを決議する。

決議第5号

ホストクラブ及び関係諸団体

に対する感謝の件

一九五九年度第三六〇地区年次大会が万全の準備と至妙な運営によって成功裡に催され数多の収穫を得ることの出来たのは、静岡ロータリークラブの大会委員はじめクラブ全員の献身的奉仕の賜物であり、又静岡市にある官庁及び公私諸団体の熱心な協力に負うところが多い。

依て茲に

本大会参加の会員及び家族は本大会の名に於て静岡ロータリークラブとその会員及び家族に対し深甚なる謝意を表すると共に、静岡県知事、静岡市長、静岡市民、警察署、消防署、電話局、市内主要新聞社、各放送局、ボーイスカウト、国有鉄道、交通公社、静岡鉄道、静岡県下ロータリークラブ及び其他に対し深甚なる謝意を表することを決議する。

決議第6号

静岡市へ記念品贈呈の件

一九五九年度第三六〇地区年次大会を静岡市に於て開催するに当って静岡市民の深い理解と好意ある協力によって本大会が快適な環境の下にその目的を達することが出来たことに対し、参加者一同は深く感謝している。

依て茲に

本大会は参加会員の献金により金一封を静岡市に贈呈して感謝のしるしとすることを決議する。

決議第7号

次期大会開催地に関する件

東京都はその設備その他において連合地区大会開催に最も適し、かつ東京北ロータリークラブは、一九六〇年度に第三五〇、三五五、三六〇地区連合大会のホストたることを欣然受諾する意志を表明した。

依って三六〇地区年次大会は他の二地区と連合して東京北ロータリークラブをホストとし、東京都において一九六〇年十月又は十一月中ガバナーの決するところにより、これを開催することを決議する。

決議第8号

一九六一年国際ロータリー

東京大会協力に関する件

国際ロータリー理事会は、東京クラブをホストクラブとして、一九六一年国際大会を東京都において開催することを正式に決定した。

そして一九五八年地区大会において、われわれは一九六一年東京都における国際ロータリー大会開催に伴う国内経費の一部を分担する意味において応分の寄附をなすこと、及び同大会参加の海外ロータリアン及びその家族の地方遊覧に対し助力することを決議した。

そして、ホストクラブ準備委員会の調査によれば、海外よりの東京大会参加者概数は約五〇〇〇人に達せんとする情勢にある。

近年国際大会の例によれば、広範囲にわたる地方観光その他に伴う地方クラブの協力が顕著になりつつあり、一九五八年ダラス大会においては、その近接一四クラブがコ・ホストとして協力し、一九五九年ニューヨーク大会においては、ニューヨーク市内の各クラブはもちろん、ニューヨーク州内地區のガバナー協力の下にコ・ホストとしてニューヨーク大会の成功に寄与した。

依って本地区大会は、一九六一年国際ロータリー東京大会のコ・ホストとして協力し、特に海外よりの参加ロータリアン及びその家族の地方観光には、

必要に応じ最善の助力をなさんとするものであることを、ここに決議する。

決議第9号

伊勢湾台風被災に関する件

一九五九年九月に発生した伊勢湾台風によって未曾有の災害を蒙った人々に対し深甚なる同情の意を表することを決議する。

〇インターシティー、ゼネラル、フォーラムの予定変更

(The Change of the Intercity General Forum schedules)

9月15日付ガバナーズ、レターをもってインターシティー、ゼネラル、フォーラムの予定を発表いたしました。その後伊勢湾台風のため変更の止むなきに至りました。岐阜県三重県、及び愛知県につき次ぎの通り改めて決定したいと存じますのでホストクラブにおいては御協力をお願いいたします。

1. 愛知県、ホストクラブを名古屋南 R.C. に変更、1960年1月30日(土) 举行。
 2. 三重県、1959年11月26日を1960年4月23日(土)に変更、ホスト、クラブは伊勢 R.C.
 3. 岐阜県1960年2月6日を1960年5月14日(土)に変更、ホスト、クラブは多治見 R.C.
- 各県共リーダーには変更ございません。

〇公式訪問予定

(Schedule of Official Visit)

伊勢湾台風のため公式訪問予定を変更いたしましたところは多治見、中津川の二つのクラブであります。若し未済のクラブで罹災のため公式訪問の日時等につき御希望がありましたら御申越し願います。

ガバナーズ、レター No. 4 に記載いたしました本年中の日程は現在のところ変更いたしておりません。

1960年1月2月中旬迄の予定は下記の通りにいたしました。詳細は別便にて連絡いたします。

クラブ名	クラブ協議会	列 会 出 席
清 水	1 月20日(水)	1 月21日(木)
沼 津	1 月21日(木)	1 月22日(金)
大 垣	1 月29日(金)	1 月29日(金)

○静岡東仮クラブ発足

(Shizuoka Provisional R.C.)

静岡 R.C. の小塩孫八君を特別代表として設立準備を進めていました静岡東クラブは十月十四日創立総会を挙行し仮ロータリー、クラブとして発足いたしました。

会 長 松本 惣三

幹 事 石川 良平

事務所 静岡市金座町21-1 中部相互銀行内

例会場 松坂屋 七階社交室

例会日 水曜日 12.30—13.30

○ロータリー装学金の寄附

(Contribution to Rotary Foundation)

1959年九月中に御払込を受けました、ロータリー財団奨学金寄附は、下記の通りです。御協力を感謝いたします。

クラブ名	献金額	新会員 @ \$10	旧会員 @ \$1
四日市北	3,600	1	
吉原	14,400		40
合 計	18,000	1	40

第360区 1959年度10月分出席率表

今月 順位	クラブ名	例会 回数	今月 末 会員 数	対期 初 増減	出席 率 算上 会員 数	出席率 (%)
1	熱海	5	43	+1	43	100.00
1	伊東	4	34	+1	34	100.00
1	金沢東	4	49	+2	49	100.00
1	三島	4	31	+2	31	100.00
1	沼津	5	53	+1	53	100.00
1	豊橋北	4	35	=	35	100.00
1	吉原	5	43	+3	43	100.00
8	豊橋	5	53	=	51	99.61
9	浜松東	5	38	+5	38	99.47
10	多治見	4	38	=	38	99.34
11	瀬戸	4	22	=	22	98.86
12	一宮	5	49	-1	49	98.77
13	浜松	4	59	+2	59	98.30
14	岡崎	4	40	+5	40	98.13
15	小松	5	45	+6	45	97.82
16	高岡	5	41	+4	41	97.58
17	名古屋西	5	65	+1	64	97.52
18	大垣	4	43	+2	42	96.43

19	四日市	4	63	-1	61	96.31
20	尾西	4	46	-1	46	95.66
21	上野	4	40	+1	40	95.63
22	岐阜	5	64	+4	63	95.56
23	名古屋東	4	27	=	27	95.37
24	安城	5	29	-1	29	95.17
25	岐阜南	5	39	+2	39	94.87
26	清水	4	48	-1	48	94.79
27	半田	4	35	-1	35	94.29
28	静岡	4	64	+1	62	94.03
29	豊川	4	25	+4	25	94.00
30	金沢	4	73	+8	73	93.49
31	蒲郡	5	34	=	33	93.33
平均出席率 (51クラブ)						93.13
32	刈谷	4	32	=	32	92.97
33	伊勢	4	37	=	34	92.65
34	美濃	5	25	=	25	92.00
35	津	5	37	+2	37	90.69
36	名古屋北	5	27	+4	27	89.87
37	碧南	4	26	+2	26	89.46
38	七尾	5	29	=	29	89.22
39	松阪	4	41	=	41	89.02
40	飯田	4	34	=	34	88.97
41	富山	4	60	+8	60	88.34
42	中津川	5	29	-1	29	87.65
43	西尾	4	35	+3	35	87.17
44	礪波	4	29	=	29	87.07
45	名古屋	4	151	+4	148	85.98
46	諏訪	5	38	+1	38	82.10
47	高山	5	31	+1	31	81.94
48	魚津	5	27	-2	27	81.48
49	津島	5	32	-1	31	80.65
50	松本	5	40	=	39	80.00
51	名古屋南	4	40	+1	40	78.13
合 計			2,162	+71	2,150	4,749.70

尚 桑名、四日市北クラブは伊勢湾台風の被災により休会致しましたので算定より除外致しました。又瀬戸クラブは今月より算定に含まれる事になりました。

第 360 区

ガバナー事務所

浜松市鍛冶町124

株 式 会 社 松 菱 内

山 岸 勇 次 郎

電 話 ② - 0 1 1 1